

議会報告会・意見交換会記録

記録作成：議会基本条例推進委員会

- 開催日時：平成 27 年 4 月 24 日（金）18 時 00 分～20 時 38 分
 - 開催場所：茶屋老人憩の家
 - 参加者：18 名
 - 主催者側：議員（14 名）、議会事務局（3 名）
 - 次第
 - ①挨拶（添田議長）・自己紹介（議員全員）
 - ②予算の概要と審査内容について説明 …予算審査特別委員長（根岸）
 - ③予算審査に関する質疑応答
 - ④常任委員会の議案審査内容及び閉会中の継続調査について説明
 - …総務建設経済常任委員長（桑原）
 - …教育福祉常任委員長（小笠原）
 - ⑤各常任委員長の説明に対する質疑応答
 - ⑥意見交換会
- *②・④は当日配布資料に基づき説明を行った。

<質疑応答>

◆予算審査について◆

参加者：毎月、だいたい町から去っていく人が 20 人から 15 人いますが、予算がだんだん膨らんでくる。これで本当に大丈夫なのか。歳出はだいぶ膨らんで 1 億何千万円増えているんですけど、大丈夫ですかね。前回来た時も質問したが、やばい世界じゃないかと私思うんですけど。特別会計もだいぶ増えているので。

議長：全体的なことなので私からお答えします。細かいところの増減は説明しても仕方ないので全体の感覚として申しますと、平成 26 年度と 27 年度の予算規模は大きく変わっていないと思います。平成 27 年度予算で 1 億 8 千万増えているのは、主に（仮）剪定枝資源化施設整備及び運営事業です。これは町単独の事業ではなく、広域事業なので、平塚と大磯分は負担金として二宮町に支払われます。これが無ければ、ほとんど同予算ではないかと思います。ご心配なのは、歳入の町税減かだと思います。1 億 5 千万円ぐらい減っています。町民税が約 9 千万円、固定資産税が約 5 千万円減っています。町民税は、生産年齢人口の減少、固定資産税減は家の減価償却で減少と町は説明しています。

参加者：もう一つ、土地をね。東大の跡地と国立病院とラディアンのところがありますよね。それ普通、固定資産税が入ってくるが、町のものだから、固定資産税が入ってこない。普通なら相当な固定資産税が入ってくるわけですよね。

それともう一つ、IT 館を子どもさんの保育施設にという話なんですけど、ラディアン

にあったほうが駐車場があつて預けられるから良いのでは。

根岸：これから、一時保育とかありますが、駅前保育というのは、働くお母さんにとって便利になるだろうと。ニーズがありますし、民間委託先のほうと話し合いをしているところもありますし、駅前に必要ではないかと。ニーズ調査としてデータとしては取っていないですが、声はあります。駐車場は奥に2、3台分ありますが、やってみてから問題が出るかもしれませんね。

参加者：私、考え方が違うかもしれないが、ラディアンにあれば、駐車場に置いてそのまま歩いて駅に行かれるサラリーマンもいていいのではないかとちょっと思いました。

議長：東大跡地、小児病院跡地及び（花の丘公園となった）ラディアン裏の土地ですが、小児病院跡地は子どもの施設をつくるという約束で国から安く買ったようです。東大跡地の購入に関してですが、固定資産税の議論はありませんでしたが、町債の起債なく基金を取り崩して購入しました。ラディアン裏の土地については、意見交換会でよく質問されますが、約22億円で購入しました。国の補助金が約6億円。町の一般財源約4億円。残り約12億円のうち、約6割ぐらいは地方交付税に算入され、3億か4億は残りますが、そのうちの約2億円は法務局への土地貸し付け料の収入で賄い、これからの世代に負担をかけるのは1億か2億であると町は説明しています。

固定資産税の方から意見をいただいたのは初めてですが、財政的な面では町はそのように説明をしています。

参加者：町債費が、25年は6億7千万円、26年度が6億4千400万円、27年度が6億2千800万円と若干下がってきているが、町債費の償還年のピークはいつごろになるのか。

地域包括システムのことです。地域ケアシステム。せっかく小笠原議員が質問したのですが、本会議での答弁でも社協と連携してやっていくぐらいしか言っていないわけ。よその自治体ではすでにやっている。そこで、今年度どうするのかということにまだ素案もできていないのにそれでいいのか。そういうことをほんとはもっと議員が突かないといけませんよね。あの答弁を聞いていてもまだこんな段階という感じでほんともう情けない。もともと福祉は、社協にぶん投じているのですが、丸投げしているところがあって、やはり、そういうのは町が主体にやっさいこうということでそれを社協が受けるわけで。そういう形に町はなっていないですよね。今度は地域包括システム、こんなに我々大変でみんな困っているのに、今の段階でこんなで、いつやるの。いつ素案ができるのか。非常に危惧しています。

小笠原：まったくご心配のとおりだと思います。今回、行政の担当部長も、体調の関係で辞めたというのもあって、子育てのほうの部長が兼任という形になったのです。担当の課長がいるのですが、進捗状況を最近聞いたが、まだ医師たちのグループに投げかけているという程度で止まっています。担当課の件でいうと、新聞沙汰にもなってしまいましたが、介護保険の還付金の返還を滞らせていて、まだその尻拭いで毎晩残業をしているような状況で、担当課は目一杯、一生懸命頑張っているところです。法律的には2年

の移行期間があります。近隣の町はもう結構進んでいて、私の周りの資格を持った人たちにもどうなっているのか聞かれます。社協は社協で考えているのは事実。ただ社協は言われたら動きたいけど、勝手には動けない。議会は問題意識を持っていて、近々、突っただけでは無くてもともに考えていきたいということで、教育福祉常任委員会で勉強会・意見交換会など日にちを決めて次に進むよう準備を進めています。

議長：償還のピークは今分かりません。臨時財政対策債がご心配なのではないでしょうか。今年の臨時対策債の借入れは確かに増えています。町は発行額を抑えようとしていますが、今年度の予算では財政が厳しいので増えてしまっているようです。26年度からは町債残高が予定の数値なので、分かりませんが、町債残高のピークはたぶんこの辺になると思います。

参加者：町債比率が高くて30いくつあるし、経常収支の比率も厳しいしね。財政面の質問があまりないですよ。軽く触れるぐらい。もっとがんがんに突っ込んでいかないと、せつかく議員さんいらっしゃるのだから、ぜひ、積極的に質問をしてほしい。

参加者：先ほど福祉の話で、子育て、駅前南口の保育所など案が出ていますが、ああいう施設で、町からお金を出すとか以外で、新しい考え方が無いんですかということをお願いなんです。実は、横須賀市のエンジョイよこすかという福祉研究所が運営しているんですけど、土地を貸して、そこに建物を建てて、要支援から介護5までの人を、その施設に一日約100~140人受け入れている。もちろんお金を取って運営しているんですけど、その運営を見ると、訓練を受けたり、遊んだり、お風呂に入ったり、何でもできる施設なんです。そこで子どもも預けることもできる。そういう施設ができるのであれば、外部の事業者には何かそういう依頼をして、二宮は土地が余っているのだから、そういった業者を探して、その場合は大磯、平塚とか、秦野とかなど広域でやったらいい。そうすればいろんな人が集まってくる。施設をつくるにはどこにということだが、駅前につくりたかったら今の町民会館だっていいわけですよ。二宮小学校の庭の一部を使うとか、そういう考え方で運営してくれる事業者に依頼してやったらいかがですかという質問より意見です。実際にやっていて非常にうまくいっているところがある。福祉総合研究所は港南区かなんかでやっています。横須賀市の中には横須賀市だけではなくて、逗子、鎌倉、三浦、横浜市の磯子、金沢区の人たちが自動車で送り迎えをしてその施設でやっている。勤めている方は介護士さんもいるし、医者も来ていますし、来る人も子どもがいるので、そこで託児もできる。預かりながら、なおかつそんなことをしている。聞いた話では、食事は昼だけですが1食690円。あとは介護のランクによってお金が違う。数千円から。町がと言っても始まらないから、外部に依頼して新しい施設をつくるということと、二宮だけでなく、総合的に、広域にしてできないかということを検討してもらいたい。

根岸：IT館の後の子育て施設については民間委託です。民間保育事業者と話をしているようですが、今はまだ煮詰まっていないので詳しくは言えないのですが。

参加者：介護度のランクの変更があるでしょ。要支援1・2については社協を通すとか。それに対する町の方針、2年間でやろうとか言っていますが…。本質的に町が何をどうしようとしているのか分からない。年寄りが増えている状況の中で果たしてこのままでいいのかということを知りたいのですが…。

参加者：今年度の一般会計の予算は77億8千万円。その中で、経常経費が何にもしなくてかかる金が約38億あると。そうですね、48.7%。政策経費、これから事業をやるという金が39億8千万円。その中で、昨年が投資経費26年は4億6千万円。今年はどれぐらいあるのか。都市基盤整備としてみても、道路はだいぶ悪くなっている。村田町長の公約である歩道整備もしていくとなると、今年度の投資経費がどのぐらい出てくるのか聞きたい。

議長：経常収支比率はまったく別の計算方法です。分母に臨時財政対策債が入ってしまいます。ご質問の部分は土木費で8億円です。

参加者：8億が土木費ということで予算化。一般的な釜野の排水とか、跨線橋とかは。

議長：釜野の雨水工事は地下の管を設置するもので下水道特別会計です。地上の雨水溝で流す工事は一般会計の土木費です。

参加者：80周年の記念事業ということで、神輿パレードの話が秋にはスタートしていた。議会でその問題はほとんど出ていない。予算は30数万しかないということで…。神輿をやるというのは、カネ無しでできるのかという相談をしたら、かつぎ手が好きでやっているんだからというような回答。しかし、実行委員会とはいえ、町の80周年でやるんだから、地区長がいて、議員、商工会などがいてピラミッドの中で、いかに寄付を集めていくかしか考えられない。町内会だってお金がなくて困ってしまうわけで。地区長会でも責任を感じて、みんなで負担しなきゃいけないのかなと話し合っている。募金をかけるとか、広報でどんどん宣伝するとか、目標額を200万円ぐらいに設定するなどしてやってほしいが。

議長：私は80周年の協議会を傍聴していますが、ほとんどが冠事業です。金を使った事業はほとんどありません。各種団体に協力をお願いして、事業に合わせ時期をずらしてやっていただくなどをしているようです。補正予算は多分出てこないと思います。

◆総務建設経済常任委員会の報告について◆

参加者：27年の3月議会で、議案が出されている。第7号議案。職員の給与に関するもの。これは、民間給与の低いところで官民格差を無くすということで、要するに二宮の場合は、町の職員の場合は、民間の給与ベースの平均より、職員のほうが上がっていたら向こう3年間で徐々に引き下げていきますよという条例改正ですか。

桑原：3月をめどにしたことで、差が出ていますよね。地域によって、例えば都会と地方。公務員と民間の違い。2%そこで下げましょうと、それで2%というのはボーナスとかを考えてもでかいので補償しないとイケないので、それを月々に入れ込んでいきましょう

と。ただし、3年間で限度ですよと。

参加者：町の職員がこれに当てはまるのかというか。

桑原：当てはまります。

参加者：県下でも職員の給料がだいぶ低いではないですか。かつこれが当てはまるとなると、二宮を中心にいた民間の給与のほうがもっと低いという感じがしたんですが、そういうことになるんですね。

桑原：とりあえずそんなことだと思います。

議長：基本的な考えは、都市部は民間のほうが高く、地方は民間より公務員のほうが高いので、二宮町は地方と位置づけて、全体に2%下げますということです。3年間の猶予については、いきなり下げるのは大変なことなので、3年間の間には号が上がり、上がらない人もいるが、給与は維持できることを考慮したものです。

参加者：職員の立場からすると、県下でも低いのにまた下げられたら気の毒だなと。

参加者：継続調査についてですが、公共施設の建て替えについて、集会施設や学校施設以外となっているが、学校が優先されるかと思ったらそうではない。なぜでしょう。

桑原：学校施設は教育福祉常任委員会で扱うので、総務建設経済常任委員会では、学校施設や地区集会施設以外の施設などについて扱います。

議長：二宮の施設は多分3つに分けられると思います。地域集会施設、小学校・中学校の学校施設、それ以外の町の庁舎等です。今後の方針として、全部建て替えることはできません。施設更新には245億円必要と推計されるが、投資予算から推計すると64億円しか確保できません。優先順位をつけ統廃合しなければなりません。学校統廃合はそんな簡単にできるものではなく10年ぐらい時間をかけて議論すべきものと考え教育福祉常任委員会の課題にしました。また、地域集会施設については、町が横浜銀行のシンクタンク(浜銀総研)と一緒に利用状況を調べているのでそれを待たなければならず、それ以外の施設を検討していくこととしました。また、温水プールや図書館など、より効率的な運営が求められる施設があり、運営方法等も含め、当委員会の調査課題としました。

参加者：議会基本条例第16条で、政策提案として議会は町民の意見を求めることができるとなっているが、たとえば、東大跡地の件ではパブリックコメントを求めたとかありましたか。公共施設もパブリックコメントを求める予定があるのか。多分パブリックコメントを使っていない。議会の基本条例があるのに、もっと議会がパブリックコメントを使っていくべきだ。

◆教育福祉常任委員会の報告について◆

参加者：一つ提案なのですが、学校統合について。一色小、山西小とも、学童が少ない。東大跡地につくって、安全性を考えてスクールバスで移動させたらどうですか。

小笠原：前の町長はそう言っていたことがありました。新たなものをつくるのは相当な費用がかかる。それをどこから捻出するのか。それにつきます。一色小の1年生は1クラ

ス。どの学校が今後無くなっていくのか…。西中も減っておりまして、よほど大きな施策をしない限り、全国的な問題だから、どこかを減らすことになると思います。東大果樹園跡地のほうは正式に意見交換していませんが…。

議長：学校の統合については東大跡地の利用の一案として総務建設経済常任委員会調査で始めましたが、調査を進める過程で、東大跡地ありきではなくて、学校統合ということを実際的に考えなければならないということになり、教育福祉常任委員会の調査課題としました。東大跡地利用も考慮すべきと思います。

参加者：学校施設の統合なのですが、議員の教育福祉常任委員会でもんでもらうというのは結構だが。最終的には地域におろさないと火を噴く。大きな問題だから。もう一つは、これから村田町長。10年を見据えた二宮町を作っていくんだという公約・政策。それと合わせ、定住促進とも合わせ考えないと…。人口を増やしたはいいが、学校が無いでは困る。いろいろ総合的に議論していかないと大変なことになる。

(5分休憩)

<意見交換会>

参加者：うちの家内が、長い間糖尿病。寝たり起きたりしている。3年前に役場に行って、2級だからオムツとか、タクシー代が出ると言われた。介護のほうに聞いたら、1歩、2歩歩いたら出ませんと。それなら大磯病院まで片道2千円、往復4千円。オムツは、1か月1,300円×7個買う。年金では暮らしていけない。多少でも千円でも500円でもいいから欲しいというのは私の考え。2級と1級はどこまで差があるのかな。

根岸：認定審査会を経て等級が決まります。介護認定もそうだが、お医者さんには診断書は出されていらっしゃるんですよね。不公平を感じる人には不服申請ができ、制度としては整っている。

参加者：2級だから町に何割か出すように請求しておきますよと言われた。5月ごろからおむつ代は数%とは出るかもしれないと。なんで5年も前ぐらいから言っているのに今さらなのか。他の人に聞いたから、小田原も平塚も出ていると言っているの。

根岸：平塚、大磯とはどう違うのかは分からないが、ボーダーラインのとりかたについて調べたうえで、不具合があればお声を聞かせていただければと思います。

小笠原：公の場なので、疑問に思われることは、後で明確になるように、ご本人にはお知らせします。

参加者：議会運営上のことなのですが、議会基本条例を作ったので活用しないと、宝の持ち腐れになっている。第11条。政務活動費。公開することで透明性を確保する。年9万円。少ないですね。申し訳ないですね。その中で、領収書はともかく、ざっくりと項目ぐらいはインターネットに公開してほしいということです。事務局は申請主義だと言われました。情報公開を前提とした形でやっていかなければならないことですから、今後よろしくをお願いします。

議会の図書室のこと。ラディアン予算のことを聞くと年 2 万円も仕方ないかとも思いましたが、今年度 6 万円に増やしたとのことでした。図書室にどんな資料があるのか聞いたところ、近隣の予算決算など、監査意見などはないということで。議員は近隣のそういうのを見ていないのかと疑問に思った次第です。近隣市町村、同規模の町、交流しているところなど、決算書予算書を交換して議員さんに勉強していただきたい。

陳情です。趣旨採択という言葉ですが、日本語では「陳情者の趣旨は分かりました。採択しましょう」ということになりませんが、町では「趣旨は分かりましたが、採択しません。」こんな日本語おかしいですね。林修先生に怒られます。一般的に、その議会は継続もしくは結論保留。継続が一般的だと思います。議会運営委員会でもんでいただきたい。

一つほめないといけないのですが、議会だよりが薄くなりました。今までぐらいのほうが私はいいが、皆さんの意見がそうだとということで、改革していただいてありがとうございました。

二見： 趣旨採択についてのことはこれから研究します。

議長： 今回の図書費の 4 万円位は、「議員必携」という図書の購入経費です。図書の充実のための経費はとても少ない。大したものほとんど無い。他の町の予算決算を見ているかということですが、実際にはネット上ですべて手に入ります。県の決算カードを見ることができる。公会計は市町すべて公開されている。図書で充実というよりは、個々の議員がネットで収集するという形をとっています。法律があつて、例規集があつて、他市町村の歴史などが多少あるのですが、今の議会の活動に直接利用できる形ものは少ない状況です。基本条例にもあると思うが、それをするようであればネットを利用して、議員間の勉強会をしたほうがもっと効率的かなと思っています。

町長はこれから交際費を公開すると言っていますが、議会もこれから政務活動費の公開を考えていきます。公開したくないというものでもありません。

参加者： 昨年、根岸議員が恒道園のことで質問をした。かなり一生懸命やってくれた。町の答弁が明確ではない。データを示すとか、調査の結果どうだったとか、せっかく聞いているのに、町はもしや知っていても知らないと言っているのではないかと。聞いていてそれを感じさせるものでした。議員は突っ張って休憩して、すぐに資料を取ってこいと。それだけ別件で翌日にやるとか、答えを出してもらわないと残念。知りません、聞いてませんが。まだ県から出ていませんとか、そんなの調べればできるはず。町が把握しているのではなかろうかと議会を傍聴していて思った。翌日でもいいから、そういうことをしないとあんなあんな議会だろうと見られてしまい、真剣味が無いなどどうしても思われてしまう。引き出す方法を考えてほしい。要望です。

参加者： 今年の 3 月、役場に行って 24 年度の確定申告をしたら、27 年度になって役場に行ったら修正だと言われた。修正とはどういうことだと文句を言った。24 年度確定申告したのに 27 年になって、修正だと言われた。実は更正だったのですが、なぜ 24 年のも

のが 27 年に来たのか不満です。こういうことがありましたということ。

参加者：4 月の広報を見まして、戦略的行政運営。平成 25 年、中期総合計画。25 年から 10 年で 35 年まで見直しますね。ここで新たに町長が変われば当然かもしれないが、2 年たって総合計画の見直しをはかりますよね。広報にあります、施策事業を見直し、実効性のある計画を行う、とあります。25 年に載っていた施策は多少変更があると思いますが、27 年ですから、あと 8 年。あと 2 期で当局・町側と議論してほしいが、東大跡地、国立小児病院跡地はこれについては、前町長は 5 年先という形でした。今度、新町長は中期計画に取り組んでいくのか。この点について、議会サイドとして、この総合計画にどう取り組んでいくのか。意見ですが、じゅうぶん議論して 35 年までに、その二つの用地が何らかの形で動いていくのか、じゅうぶん詰めていただきたいと思います。

参加者：先ほどの子育て支援というところについて、空き家支援と住環境の支援による定住促進というのがありますが、今二宮に何軒くらい空き家があるのかということと空き家対策とは具体的にはどのようなことをするのでしょうか。2 点を伺います。

議長：空き家は 268 軒となっていますが、補正予算で盛り込まれている空き家データベースの作成ではっきりしてくると思います。町の単独予算で行っているリフォーム助成は住環境の整備とともに空き家をリフォームして貸すことを促進しようとするものです。

参加者：リフォームの費用を町が出すということか。

議長：普通のリフォームは 20 万円以上に 5 万、定住促進用空き家の方では、50 万円以上に 10 万円の補助です。地方創生補正予算での助成とは別（※注）です。

（※注；こちらは町単独事業でなく国の補助金事業）

参加者：空き家対策の関連ですが、町内会から、空き家が 15 件くらいあると。組長から実は相談を受けたんです。家が傷んでいて近所に迷惑。21 日に町に行って町長に話した。今年度、予算を取って全町を委託業者にかけて調べると。当然議会にもかかるとは思います。地域と町の企画課で連携をとって進めてほしい。11 月に空家対策特別措置法に伴って、撤去や利活用をするための計画策定を町がしなさいとすでに通達がきていると思いますが、それに伴って空き家対策を進めることをしてほしい。町の権限は、あまりにもひどい空き家に対しては、撤去や修理をしなさいと行政側が命令できるように権限を持たせて、対策を進めるよう私は期待しています。

参加者：生活の質の向上と定住人口の確保というところで、温水プールの介護予防教室を行うということがあったと思いますが、緑が丘の温水プール、そこまでに行く交通機関について、介護予防だから年配のことを考えているはずなんです、どのような形で考えているのですか。それと、コミュニティバスが通ってますが、大型のものが運行されている。よく見るとそんなに乗車してされていないと感じるところです。それなのに大型なのはなぜ走らせるのか。小型、マイクロが良いのではと思っております。

二見：大型バスを使っているのは、小型は利用価値があって、高い。大型は余っていて安く借りているから。

根岸： 温水プールなのですが、自力で来られる方が対象です。ロコモティブシンドロームの予防という観点だということです。健康維持のために第一次予防事業ということで、ころばん塾と同じ括りになります。

参加者： せっかくいいことをやろうとしているわけですよ。あまりにも範囲が狭すぎて。軌道に乗ったら広げていくという将来的なことがあるかもしれないが。まずは答弁のことだけなのか。将来的にそう考えているのか。自力で行ける人を対象にして需要があるのか。自力で行くとしても、交通は必要ではないか。最初だからということなら納得だが、将来的なことまで考えていないならやる必要が無いのでは。

一石： 地域公共交通活性化協議会の委員をしています。生活の質に関わる。バスもタクシーもニーズ聞き取りに不備があって、周知もできていない。公共交通についてはこれからかなり見直しがあると思う。議論して進めていきますのでよろしくお願いします。

小笠原： 第一次予防のころばん塾。寿考園の施設を利用して、自力で行かれる方がやっていますがすごく人気。後期高齢者が近くなってくると、不安で何とか元気でいたいというのがあるから、すごく人気があります。介護認定を受けてしまうと、よほど人が付かないと無理です。認定されたら施設でプロが、指導者が付いてやっていくことになると思います。今、「心身きり条例」には取り組んでいきますが、いかにここにいる人たち、5年後、10年後元気でいられるか分からない。必要なことなので、分けて考えてほしい。

参加者： 老連の会長に温水プールの活性化をやってくれないかと頼まれた。足がなくて困った。骨粗しょう症にも良いのではないかと思います。足さえあれば活性化につながると感じたが、断念した。

参加者： 押切の坂の工事、まったく不透明なのですが。タイミングが重要で、時間もかかるし金もかかる。早急に手を打っていただきたい。

善波： 前から崩れかけていることは申請していました。ついこないだ現地を見て、これは放っておけないということでそれが始まりとなりました。調査の結果、このままでは崩落するおそれがあるということで、予算を付けてやるということで、県と国でやると。やるからには完璧に直さなければならない。応急処置ではだめ。今、立坑をやってボーリング調査中です。南側をやったときに、杭を打ったが、どこまで打つかを調査している。検査が終わればすぐ取りかかる。年内をめどに解決すると。全面直すということです。片側通行に関しては、夜間。昼間はしないということでやる。歩道は崩落を押さえていますので、ガードマンがついて、歩行は安全にできるようにします。今のめどでは、10月か11月までと聞いています。また細かい点については報告します。

参加者： 実はね、東日本大震災のときに崩落している。歩いていて、一部が欠けていた。ひびが入っていた。分かっていた。なのになんで今こんなことをやっているの。全体的には怠慢では。調査不足では。

善波： ご指摘のことは分かっているのですが、歩道は通学路になっていて、欠けてパラパラ落ちていた。4年ぐらい前から話していた。国のことだから県を通じて国へ。震災の後、

調査に来て、仮止めをした。応急処置だけだったので、まったく手を着けていなかったというわけではない。あんなになるとは向こうも予想をしていなかったという経過で承知しています。

参加者： そういうことではないんです。そのあとも見ていたけど、ちょっと…。

参加者： 県土木がやっているエクレールの前の砂運び。ダンプがすごい量。7月には終わるらしいが。土砂を巻き込んで埃がすごい。土木のほうにも言っているが、策が無い。県の管轄の仕事なので、砂が跳んで窓が開けられなくなってしまうので困っている。もう暑くなっているし、困る。継続的にやられると、トラックも危険。警備員が付いているが、下から来ると土砂を巻き込んで洗濯物を干せないと怒られている。県土木を県会議員からもよろしく願いいたします。

参加者： 地区長と一緒に話を進めました。エクレールに住んでいるから。昨年度地区役員をしていたので、県から町を経由して、回覧が来ました。2月から7月まで使うことになっている。私ども当事者だから、やるにおいては、ちゃんとしてもらわなければならない。ブルーシートもかけてもらわなければ。水の散水もきちんとしてください。毎日見て、おかしかったら県政の担当に言いますと対応をしてくれている。気を遣ってやってもらっていることは確かです。ただし、暑くなってくると、窓を開けないではいけないわけで、ずっとやられていると国が補助金を出して181億円を出してやりましょうということだと、格好の置き場所になると思う。要するに、窓を開けない時期を見計らってやっていただきたいのがお願いです。県会議員にも力になってほしい。案内は町産業振興課から来ているので、町議会議員も知っておいてほしい。窓が開けられないので、エアコンつけて電気代を請求してもいいですかと町に言った。そのぐらい困っているということを知ってもらいたい。

二見(司会)： この辺で終了させていただきます。皆さんからいただいた貴重なご意見は今後の議会で議論いたしまして、反映していきたいと思っております。長時間にわたりまして、ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。